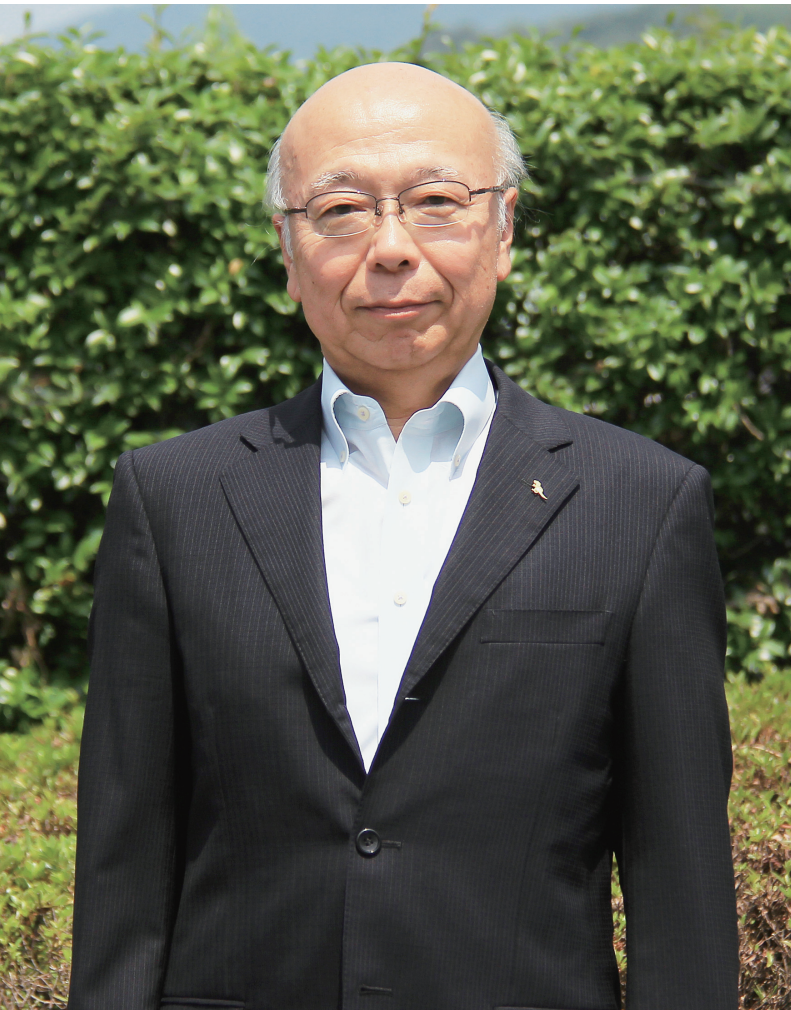


本田恵典氏が教育長に就任



新教育長

本田 恵典

ほんだ よしのり

昭和28年3月12日生（62歳）熊本市春日町出身
昭和46年 済々黌高校卒
昭和51年 鹿児島大学教育学部卒
昭和51年 八代宮地小学校教諭

：
県内小中学校教諭、文部科学省短期海外派遣、県立教育センター研修主事、東町中学校教頭、熊本市教育委員会指導課指導主事、産山中学校校長、熊本市教育センター副所長、熊本市教育委員会指導課教育審議員、熊本市立出水中学校校長、熊本市立西原中学校校長、熊本県小中学校長会会長を歴任。

平成25年 定年退職

「子どもの笑顔があふれる教育」 「行動する教育委員会」の実現をめざして

このたび、教育長を拝命しました本田恵典でございます。熊本市で生まれ育った私ですが、新たな縁を結ばせていただいたことに感謝し、御船町の教育のためにこの身を捧げる所存です。

すばらしい自然と文化、伝統が息づく御船町。恐竜博物館をはじめとした夢とロマンに溢れる御船町。そして、すばらしい人材が育つ御船町。そんな御船町の教育に携わる幸せを感じつつ思いを新たにしています。

私は、まず「徳」と「体」の教育の充実を図ります。中でも、「命の教育」「心の教育」そして、「健康教育」の推進に努めます。次に、生きる力の基礎となる「知」の教育としての「学力」の充実、三つ目に、「保護者・地域との連携を図る教育」の充実、四つ目に、「教育環境」の整備・充実に努めます。

また、これらの教育の実現のためには、就学前教育、学校教育、社会教育の連携・強化とともに、様々に活躍されている地域の人材やPTA、多くの町民の方々のご協力が必要となります。どうかよろしく願います。

「子どもの笑顔があふれる教育」の実現のため、教育委員会

任期は平成30年7月31日まで

7月17日、第4回御船町議会定例会で、本田恵典氏が教育長に任命され、8月1日、第12代御船町教育長に就任しました。

また、平成27年4月1日に施行された、地方教育行政の組織及び組織に関する法律の一部改正により、施行日以降に就任する教育長は、教育長と教育委員長の仕事が一本化され、任期が3年になります。



藤木町長から教育長辞令を受け取る
本田教育長

は、学校応援団、PTAの応援団、地域の応援団、そして子どもたちの応援団として、今以上に「行動する教育委員会」をめざし、精進いたします。

増永教育長が退任



前教育長

増永 信介

ますなが しんすけ



1_旧恐竜博物館45万人セレモニー 2_恐竜博物館開館式典

3_モンタナ州立大学附属ロッキー博物館との姉妹館提携



「笑顔と感動と夢」がある 「御船町が大好きな御船っ子」の育成に取り組んだ4年間

このたび、教育長の職を退任することになりました増永信介です。4年間という短い期間ではありましたが、私にとっては10年、いや20年分の中身の濃い4年間でした。学校教育では、「御船中学校のプール建設」「袴野小・中学校の統廃合」「御船小学校の遊具設置」「滝尾・高木・小坂小学校の大規模改修と木倉小学校の水道管工事」「七滝中央小学校の給食室建設」「御船中学校のエアコン設置」等々。社会教育では、「新恐竜博物館の建設と特別展の開催」「アメリカロッキーマuseumとの姉妹館提携」「スポーツセンターの指定管理者への移行」「5人の先哲と宮部鼎蔵没後150年行事」「カルチャーセンターとスポーツセンターと町民グラウンドの大規模改修」「御船中学校地域未来塾の開催」等々、今まで経験したことのない多くの貴重な経験をさせていただきました。その間、町民の皆様を始め、多くの皆様には大変お世話になりました。ありがとうございます。

また、私が一番力を入れたことが、「笑顔と感動と夢」がある「御船町が大好きな御船っ子」の育成です。「人づくりは町づくり」という信念で「御船町で

生まれて良かった」「御船町で育って良かった」「御船町で教育を受けて良かった」と思ってくれる「御船町が大好きな御船っ子」を育てたいと強く思い4年間がんばりましたが、どれだけの御船っ子が育ったのか分かりません。これからも1町民として「御船町が大好きな御船っ子」の育成に微力ながら努めていきたいと思えます。4年間、大変お世話になりました。本当に、ありがとうございます。



事務引き継ぎを行う本田教育長と増永前教育長